

平成29年度第2回釧路圏域地域医療構想調整会議議事録

平成30年3月2日（金）18:30～19:40
釧路市生涯学習センター特別会議室801

1 開会

2 保健環境部長挨拶

3 協議事項 「地域医療構想推進シート（案）」について

(1) 「公立病院改革プラン」及び「公的医療機関等2025プラン」について、対象医療機関6ヶ所から概要と進捗状況を説明。

ア 対象医療機関への質疑・意見等
なし

イ その他の質疑・意見等
(釧路労災病院)

シートの11ページ、病床機能報告の状況によると、H28年7月現在と6年後を比べても、急性期を減らす予定の病院が1つもない中で、2025年に向けて500床以上減らさなくてはならない、これは、うちと日赤をなくするのと同じくらい。道は、これからどのように指導・調整していくのか。

また、一番の問題は、民間病院をどのようにレギュレーションをかけるのかということ。民間病院はそのまま、公立・公的病院だけ急性期の病床を削減していく方向というのはちょっと納得できないということで、そこら辺の見通しについて、道としてはどう考えているのか。

(事務局)

構想の今後の見通しについては、この後も説明させていただくが、国から「構想の進め方」という通知が来て、これから道の方で医師会等とも協議しながら対応を考えていくと聞いているところ。本日のように、各医療機関から直接、自院の担う役割や今後持つべき機能について説明する機会もなかったと思うので、こういうことをとっかかりに、シートをそばに置きながら協議を進めていってと考えている。

民間の医療機関の計画ということについては、前回の会議の際にも「公立・公的だけでいいのか。」というご意見を頂戴し、「昨年10月に行った全医療機関向けアンケート調査を毎年継続し、各医療機関の考えをシートに反映させたい。」と回答したが、アンケートの中には、チェックを付けるだけでなく、今後自院が担う役割など内容を記載する欄もあるので、今回の公立・公的プランのように並べられたら、公立も公的も民間も同じ立ち位置になるかと思うが、そういう進め方でどうかというところは、皆様からご意見頂戴したい。

(議長)

民間もアンケートを行っているが、自院の役割や機能といったところをもう少しはっきりさせ、公立・公的と一緒に考えていくという方向でよいか確認したい。

～ 意見等なし

それでは、ただ今いただいた意見を入れて、国からの文書も含めて考えていただければと思うので、よろしく願いしたい。

(釧路赤十字病院)

有床診療所全体で182床あるが、うち77床が急性期として報告されており、6年後も引き続き維持されることになっている。実際の稼働状況はよくわからないが、これからのように動いていくのかということも考えなければならないのではないかと。

また、例えば、孝仁会さんは脳外・心臓外科・消化器などだが、東北北海道病院さんは主に整形外科になるかと思う。全身的な急性期病床というのも結構な数があり、釧路の特徴の一つと思うが、構想は地域地域で考えていくということなので、これらを急性期の枠の中で一緒に考えていくのかといったことも考慮する必要があると思う。

(事務局)

色々な性格の急性期があるということかと思う。こうした点についても、今後会議の中で議題として取り上げていければいいと思う。

有床診療所もアンケート調査を行っており、今後の動向を追っていくということも病院と同じなので、引き続きそのような形で進めさせていただければと思う。

(2) これまでの意見集約を踏まえ作成した「地域医療構想推進シート(案)」について、事務局から修正点等を説明。

質疑・意見等なし。

4 報告事項

(1) 「地域医療構想の進め方について」(平成30年2月7日付け厚生労働省通知)

事務局から概要を説明～国の通知を受けた道の対応方針は、医師会等と協議の上、今後示される予定だが、過剰な病床機能への転換等個別の医療機関の動きについては、この会議の場で説明いただき、協議していくという流れが強まるものと見込まれる。

(議長)

当面、道の対応を待つということだが、ちなみに本日参加の医療機関の中で、国の通知に該当するような計画をお持ちのところはあるか。

(孝仁会記念病院)

当院の4階東病棟(循環器内科)について、高齢者の増加に伴い循環器疾患も増加しており、慢性的にベッド稼働率が100%近くになっている。同じ階に心臓外科の病棟もあるが、そこにも常に循環器内科の患者が4～5人いる状態のため、星が浦病院の3床(回復期)を孝仁会記念病院の4階東に追加させていただきたい。418号室、420号室、421号室にそれぞれ1床加え、現在36床のところを39床にさせていただきたいということで、医療法上の病床移動については、3月1日をもって保健所から許可を得た次第。よろしくお願ひしたい。

(議長)

星が浦の回復期を外して孝仁会の方に持っていくということで話を伺った。孝仁会さんもこれから2025年に向けて病院の体制を検討なさると思うが、今後、道の対応方針が示されるので、それを待ってまた考えたい。お互いに状況を共有しながら進んでいくというのは非常に大事なので、今後ともよろしくお願ひしたい。

(2) 2018年診療報酬改定概要

事務局から説明。

(3) 市町村別在宅必要量

これまで圏域全体として示されていた必要量について、市町村別の内訳が示された旨事務局から説明。

(4) 推進シートについて事務局から説明

本日お示ししたシート（案）について、追加意見等はなかったので、事務局で最終的に字句・表現等を精査させていただき、最終（案）を皆様にお知らせした上で、（案）を外したものを本庁に提出させていただく。

(5) 次回のスケジュールについて事務局から説明

以下を勘案し、次回は7月以降の開催が適当と考えているので、日程調整については、別途お知らせする。

- ・ 各圏域のシートを札幌の会議で説明することが予定されている時期
- ・ 2017年病床機能報告の公表時期
- ・ 先ほどの国通知に関する道の対応方針が見えてくる時期

5 閉会